

特集① 春商戦(2024年1-3月)のマーケット動向

P.1～10

■ 2024年3月:特集レポートダイジェスト ■

- 【1】 2024年1-3月 供給動向
- 【2】 2024年1-3月 販売好調・堅調物件事例
- 【まとめ】
- 【2024年4月以降の供給予定物件ピックアップ】

特集① 春商戦(2024年1-3月)のマーケット動向

2024年1-3月:春商戦の首都圏の新築マンション供給戸数は、約7,300戸(前年 同期比▲10%)となる見込み。
内、新規スタート物件が約3,100戸(同比+4%)と前年同期より微増。23区以外を中心に、第1期スタート時に100戸以上供給となる物件が散見され、価格上昇が進む中ながら、供給は概ね予定通りにスタートしている。
本レポートでは、「2024年1-3月の春商戦マーケット」について、供給動向、販売好調・堅調事例を分析。直近のマーケット動向を確認しました。

特集② 新築マンション入居者からみた購入実態

P.1～13

～2023年入居者実態調査より:「購入までのプロセス」「住宅購入の満足度」～

- 【1】-①② 購入までの「検討期間」「モデルルーム見学件数」・最近の住まい探し
- 【2】-①② 情報収集で利用した媒体・お客様の声・認知媒体
- 【3】-①② 「優先度を妥協した条件」について
 - ③ 予算の目安・購入前後の「住居費」の差額
- 【4】【5】 購入の「タイミング」・入居後の「住み心地・満足度」について
- 【まとめ】
- ◇ 持家層の「住替え理由」・「前住宅の売却状況」等

特集② 新築マンション入居者からみた購入実態

～2023年入居者実態調査より:「購入までのプロセス」「住宅購入の満足度」～

新築マンション購入者の実態について、『2023年入居者実態調査』より分析。住宅購入までのプロセスや検討の際に優先度を妥協した条件、住宅購入のタイミング・満足度等から、今後のお客様動向のポイントについて考えました。

<分析項目>

- ・購入までの「検討期間」、「見学件数」、「利用した情報媒体」
- ・「優先度を妥協した条件」
- ・購入前後の住居費の差額
- ・購入の「タイミング」、入居後の「住み心地・満足度」等

～次号(2024年4月)の予定～

◆特集レポート

- ・(仮)2024年GW商戦の動向他
- ・(仮)首都圏版:お客様意識調査(2024年4月調査)